

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	大学院工学研究科建築学専攻
学年(出発時)	前期博士課程2年
大学名	バレンシア工科大学
国	スペイン
留学期間	2025年9月2日～2026年7月9日
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	
10:00	自宅で作業
11:00	
12:00	
13:00	昼食
14:00	授業
15:00	授業
16:00	授業
17:00	一時帰宅
18:00	
19:00	授業
20:00	授業
21:00	授業
22:00	帰宅
23:00	夕食
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
ESPAÑOL II GENERAL (A) A2	3時間	4.5	スペイン語	毎回課題、試験2回、口頭発表
History of Art	3時間	4.5	英語	座学、試験2回
Project 5(laboratory H)	5時間	15	スペイン語	グループで行う設計課題を2課題
Architectural Conservation	3時間	4.5	英語	座学、グループワーク2課題

大学のサポート	
チューターの有無	有
チューターのサポート内容	大学到着まで、授業内容や大学設備に関する質問に答えてくれた。
語学コースの有無	有
コース名、料金、期間等	ESPAÑOL II GENERAL、無料、全期間

生活	
住居のタイプ	アパート
住居の名前	Plaza olof palme No.13
部屋タイプ	フラット
ルームメイト(国籍)	スペイン、アルゼンチン、イタリア、ドイツ
室内設備	エアコン、扇風機、シングルベット、クローゼット
共用施設	キッチン、シャワールーム、洗面2つ、トイレ2つ
インターネット設備	Wi-Fi
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	自転車、10分
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	無

渡航	
Visaの種類	学生ビザ
Visa申請先	在スペイン大使館
Visa取得にかかった日数	申請から2週間程度（提出書類に不備がない事が大事）
Visa取得にかかった費用	ビザ申請料、東京までの往復運賃
Visa取得方法、提出書類等	大使館ウェブサイトの申請書、パスポートとそのコピー、大学受け入れ証明とそのコピー、経済的手段の証明（両親の口座残高など）、健康保険契約証明書とそのコピー、犯罪経歴証明書とそのコピー、健康診断書、居住証明書
留学先大学の最寄り空港までの経路	羽田—（シャルルドゴール経由）—パレンシア
渡航費用	35万3900円
ピックアップサービスの有無	無

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	あり
有る場合、その理由	修士論文執筆のため
就職活動開始時期	帰国後
帰国後の進路	設計事務所への就職を希望

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円（約）	1ユーロ＝185円
保険料（海外旅行保険、国民健康保険等）	学研災付帯12万6780円、24時間電話2万2922円、現地健康保険17万5851円
学費（教科書代や語学コース授業料等）	スペイン語の授業の教科書代30ユーロ程度
宿舍費（月額）	400ユーロ
光熱費（月額）	宿舍費に含まれる
食費（月額）	150ユーロ（ほぼ自炊）
その他	旅費
留学期間中にかかった費用の合計	約200万

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

留学での一番の成果は、「たくさんの建築を自分の目で見れたこと」です。学部時代の授業で登場した建築の数々を、自身の目で見れたことは最大の喜びであり、今後の研究活動や設計活動に生きるであろう最大の成果でした。例えばバレンシアは年間300日以上も晴れる地域です。日中は日差しが強く、西日はとてもまぶしいので、太陽を浴びたり遮ったりするために、ベランダや窓などの開口部まわりのつくり工夫が施されています。街を散歩して、建物をみるだけでも勉強になり、この興味は10か月経っても尽きませんでした。このように気候や文化の異なる土地で、建築を考えたり見たりすると、日本では考えたことのなかった建築の形態や概念が登場し、自分の思考を広げることができました。

そしてもう一つの成果は「実際/本物を体感したこと」です。これは建築に限りません。食、芸術、文化、風土など様々な事象に及びます。今の時代、インターネットなどで、世界中のほとんどのものを見る・知ることができます。しかしながら、実際に体感するのとでは大きな差があると感じました。空間や味はその分かりやすい例だと思います。自分の足で稼ぎました。実際を経験した自分は、何か武器が増えたような感覚で、日本や世界をより俯瞰で見られるようになりました。

そして10か月という期間がこれを可能にしてくれたと思います。振り返ると、前半は現地や海外のこと、後半は日本のことを考えていました。日本の建築、日本の文化・歴史、日本人である自分の立場など、いろいろなことに考えを巡らせました。半期ではこの考えに至らなかったと思います。

大学院に入学して、自分の研究したいことの輪郭が見えてきた時期に留学したことで、目的意識をもって大学の授業に取り組みました。建築を学ぶ多国籍の学生と授業に取り組み、交流したことで、日本の現代建築の立ち位置や自分の建築観を再考できました。そしてバレンシア工科大学は授業、講演会やワークショップといった十分な学びの機会と設備を提供してくれました。充実した約10か月でした。

今後留学する人へのアドバイス

【事前準備編】

英語には困らないようにしておく。B2レベルは必要。大学の授業は基本的に英語を選択することになる。
滞在先にエアコンや扇風機がない場合があるので注意。付いているところを選ぶ。
服は少なくてもいい。ズボン3本で十分。バレンシアではニット等の冬服を着る期間は短い。

【現地編】

中古自転車を買うと行動範囲が広がる。valenbiciは重たい&設置場所が限定的。
口座外貨普通預金から引き落とししたい場合はBBVAのATM。
米は安く手に入る。日本食は日本食専門店やアジアスーパーで現地で手に入る。ゆかりも売っている。
大学では全学期を通して無料のスペイン語クラスあり。レベルはA1～Cまで充実。これ以外にも、前期始業前の有料クラス、無料のオンデマンド学習などあり。

【TIE*取得の流れ】*6か月以上の滞在に必要な外国人身分証明カード

必要書類を作成する(申請書、パスポートとそのコピー(ビザと入国スタンプのあるページも)、受け入れ通知書のコピー、住民登録証明書、証明写真、手数料支払い済みの用紙(銀行で支払う))

警察署を予約する。(学校に頼めた。その方が予約を取りやすい可能性有)

警察署で指紋採取

後日、別の警察署でカード受け取り。

報告書記入日

2026年7月31日